

JPMワールド・CB・オープン

第 38 期 運用報告書（全体版）

（決算日：2020年7月30日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPMワールド・CB・オープン」は、去る7月30日に第38期の決算を行いました。

当ファンドは世界各国の転換社債(CB)を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的とします。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)	
信託期間	無期限です。	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。 外貨建資産への実質投資には、制限を設けません。 また株式への実質投資割合は純資産総額の30%以下とします。
	マザーファンド	転換社債(CB)への投資にあたっては、投資地域分散をはかりながら、価格水準、株価との連動性等の投資効率、発行企業の成長性および安定性等を総合的に分析し、魅力的な銘柄を選定します。加えて弾力的に為替ヘッジを行うことにより、主として為替変動による基準価額の下落リスクを軽減させることを目指します。株式(ワラントを含みます。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の30%以下とします。同一銘柄の株式への投資割合は、取得時においてファンドの純資産総額の10%以下とします。同一銘柄のCBへの投資割合は、ファンドの純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	毎年2回(原則として1月30日、7月30日)決算日に基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorgan.com/jp/am/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)			リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	期 騰 落 率	期 騰 落 率	期 騰 落 率	期 騰 落 率					
	円	円	%		%		%		%	%	百万円	
34期(2018年7月30日)	9,970	30	△ 1.8	27,883	0.1	22,524	△ 0.5	91.6	2.9	16,851		
35期(2019年1月30日)	9,348	30	△ 5.9	26,653	△ 4.4	21,735	△ 3.5	94.0	3.1	15,328		
36期(2019年7月30日)	9,791	30	5.1	28,576	7.2	23,391	7.6	96.5	1.7	15,143		
37期(2020年1月30日)	9,974	170	3.6	30,554	6.9	24,739	5.8	96.2	2.2	13,878		
38期(2020年7月30日)	10,321	720	10.7	32,178	5.3	26,726	8.0	92.4	4.0	13,598		

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス[旧トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス](為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したリフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)			リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率					
(期首)	円	%		%		%		%	%	
2020年1月30日	9,974	—	30,554	—	24,739	—	96.2	2.2		
1月末	9,950	△ 0.2	30,443	△ 0.4	24,734	△ 0.0	95.7	2.2		
2月末	9,617	△ 3.6	30,105	△ 1.5	24,210	△ 2.1	96.0	1.8		
3月末	8,638	△ 13.4	26,048	△ 14.7	21,318	△ 13.8	94.0	1.0		
4月末	9,281	△ 6.9	27,875	△ 8.8	23,161	△ 6.4	94.0	2.0		
5月末	9,942	△ 0.3	29,474	△ 3.5	24,209	△ 2.1	94.6	2.3		
6月末	10,455	4.8	30,845	1.0	25,246	2.0	95.0	3.7		
(期末) 2020年7月30日	11,041	10.7	32,178	5.3	26,726	8.0	92.4	4.0		

(注) 期末基準価額は分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

投資環境

◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすリフィニティブ・グローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、欧州(ユーロベース)、日本(円ベース)は前期末比でマイナスとなった一方、米国(米ドルベース)、アジア(除く日本、米ドルベース)はプラスとなりました。

- ◆期首から2020年2月中旬にかけては、米中間の通商交渉に進展が見られたことなどを背景にグローバル景気の減速懸念が後退したことなどから、概ね堅調に推移しました。
- ◆2020年2月下旬から3月にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、グローバル景気に対する影響が深刻の度合いを増したことを背景に大幅に下落する展開となりました。
- ◆4月以降は、感染拡大が中国や欧州でピークを越えたとの見方が広がったことや、各国が景気対策を継続する姿勢を示していたことなどを背景に、概ね上昇基調で推移しました。

◎為替市況

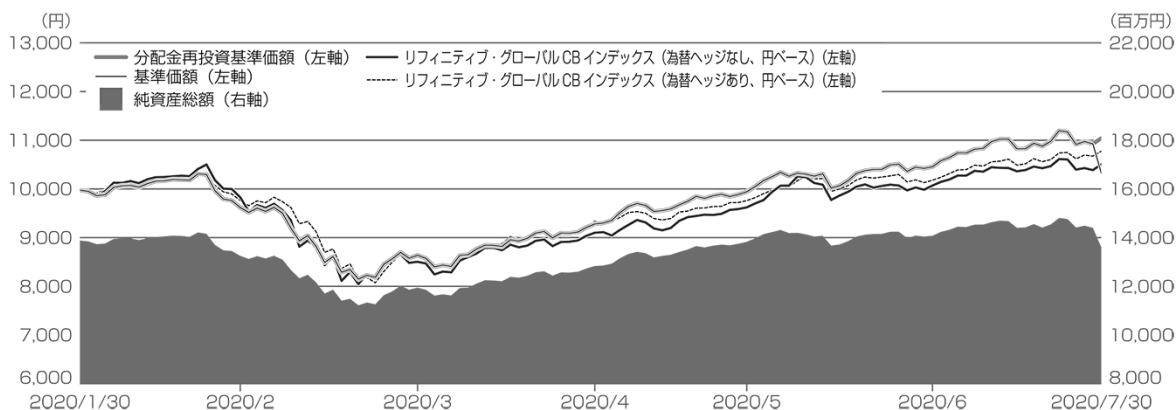
為替市場では、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感が高まり、相対的に安全資産とされる円が買われ、その後米国の景気対策への期待感などから米ドルが買われるなど変動性が高まった場面があった中、前期末比では米ドルは対円で下落となりました。一方ユーロは、EU(欧州連合)の復興基金が発表され欧州景気が下支えされるとの見方が広がったことなどを背景に、対円で上昇となりました。

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+10.7%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+9.4%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額およびリフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて保有証券の価格が上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

セクター別では、テクノロジー、消費財(生活必需品)、コミュニケーションセクターなどを中心に堅調なパフォーマンスとなりました。各国・地域別では、北米やアジアなどへの投資がパフォーマンスにプラスに寄与しました。株価連動性については、前期末対比で上昇しました。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当りの分配金は720円(税込)としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込)

項 目	第38期
	2020年1月31日～ 2020年7月30日
当期分配金 (対基準価額比率)	720 6.521%
当期の収益	720
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	522

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆新型コロナウイルスの感染拡大に対して、各国政府や中央銀行は景気を支えるため、大規模な対策を速やかに打ち出し市場を支えてきましたが、経済再開に伴う感染再拡大の懸念や、回復過程の景気が広範囲で足踏みを見せていることなどは、足元で急回復したリスク資産にとって留意すべき点と考えます。経済活動が感染拡大前の水準に戻るには数四半期が必要であり、企業の悪化した財務状況が元に戻るにはさらに長い時間がかかると見ています。景気循環の観点では景気後退局面を脱して新しいサイクルに入ったと考えますが、感染拡大に対する懸念が残ることなどから、市場の変動性は高まった状態が暫く続くと予想します。
- ◆株式市場は4月に反転してから上昇していますが、CBは依然として割安な水準にあると見ています。また、市場の変動性が高まっている中、CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、CBは株式市場の下落局面において、債券の特性により下落率が抑制される傾向にあるという特徴を持ち合わせています。第二に、市場の変動性が高まっている状況下では、CBに組み入れられたオプション(株式に転換しうる権利)価格が押し上げられることが、バリュエーション(価格評価)にプラスに作用すると考えます。第三に、CBは過去において市場の変動性が高まった局面では、これまでの例では株式を上回るパフォーマンスとなったことなどが挙げられると考えます。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2020年1月31日～2020年7月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 79	% 0.820	(a) 信託報酬 = $\frac{\text{期中の平均基準価額}}{\text{信託報酬率}}$
(投 信 会 社)	(37)	(0.383)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.383)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.055)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(株 式)	(—)	(—)	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(株 式)	(—)	(—)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(新 株 予 約 権 証 券)	(—)	(—)	
(優 先 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.034	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(2)	(0.021)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	82	0.854	
期中の平均基準価額は、9,647円です。			

(注) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

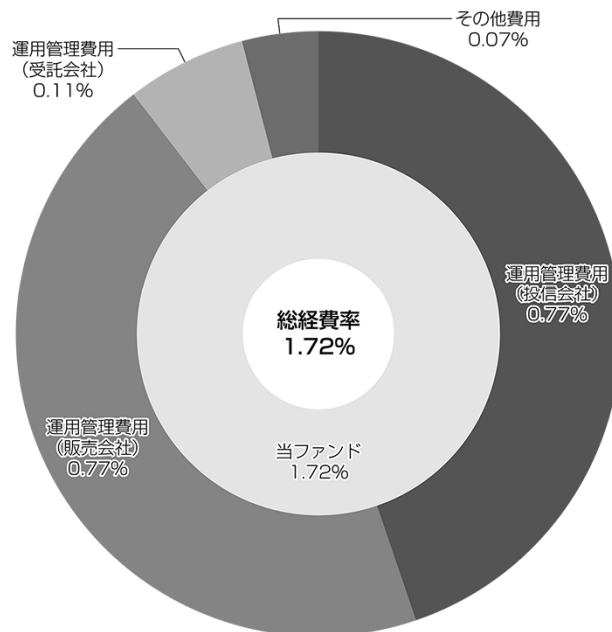
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年1月31日～2020年7月30日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	375,239	1,134,105	695,981	2,222,190

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月31日～2020年7月30日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人の発行する有価証券等

<ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
新株予約権付社債(転換社債)	300	—	333

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン・チェース銀行です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年1月31日～2020年7月30日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年1月31日～2020年7月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年7月30日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	4,500,195	4,179,453	14,489,329

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2020年7月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	14,489,329	98.5
コール・ローン等、その他	227,533	1.5
投資信託財産総額	14,716,862	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) ワールド・CB・オープン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(13,946,666千円)の投資信託財産総額(14,561,541千円)に対する比率は95.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.09円、1ユーロ=123.74円、1英ポンド=136.46円、1スイスフラン=115.14円、1スウェーデンクローネ=12.04円、1ノルウェークローネ=11.63円、1オーストラリアドル=75.47円、1香港ドル=13.56円、1シンガポールドル=76.48円、1新台幣ドル=3.58円、1南アフリカランド=6.36円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年7月30日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	24,635,743,180
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券(評価額)	14,489,329,792
未収入金	10,146,413,388
(B) 負債	11,037,222,207
未払金	9,941,304,022
未払収益分配金	948,683,434
未払解約金	36,141,171
未払信託報酬	109,631,877
その他未払費用	1,461,703
(C) 純資産総額(A-B)	13,598,520,973
元本	13,176,158,809
次期繰越損益金	422,362,164
(D) 受益権総口数	13,176,158,809口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,321円

<注記事項>

期首元本額	13,914,796,879円
期中追加設定元本額	646,727,143円
期中一部解約元本額	1,385,365,213円

当期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

未払受託者報酬	7,308,796円
未払委託者報酬	102,323,081円

○損益の状況

(2020年1月31日～2020年7月30日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	1,537,716,183
売買益	2,489,630,067
売買損	△ 951,913,884
(B) 信託報酬等	△ 111,093,580
(C) 当期損益金(A+B)	1,426,622,603
(D) 前期繰越損益金	107,276,455
(E) 追加信託差損益金	△ 162,853,460
(配当等相当額)	(103,028,768)
(売買損益相当額)	(△ 265,882,228)
(F) 計(C+D+E)	1,371,045,598
(G) 収益分配金	△ 948,683,434
次期繰越損益金(F+G)	422,362,164
追加信託差損益金	△ 162,853,460
(配当等相当額)	(103,270,653)
(売買損益相当額)	(△ 266,124,113)
分配準備積立金	585,215,624

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に関する権限を委託するために要する費用として、純資産総額に年率0.35%を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(34,143,832円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,392,478,771円)、信託約款に規定する収益調整金(103,270,653円)および分配準備積立金(107,276,455円)より分配対象収益は1,637,169,711円(10,000口当たり1,242円)であり、うち948,683,434円(10,000口当たり720円)を分配金額としております。

(注) 当期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

受託者報酬	7,308,796円
委託者報酬	102,323,081円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	720円
------------------	------

課税上の取扱いについて

●普通分配金に対して、個人の受益者については、配当所得として20.315% (所得税および復興特別所得税15.315%、ならびに地方税5%)の税率で課税されます。なお、外国税額控除の適用となった場合、分配時の税金が前記と異なる場合があります。法人の受益者の場合、前記とは異なります。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。

※上記は2020年7月末現在適用されているものです。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。詳しくは税務専門家(税務署等)にお問い合わせください。

GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド

第 19 期 運用報告書

(決算日: 2020年1月30日)
(計算期間: 2019年1月31日～2020年1月30日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
運用方針	世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資には制限を設けません。また、株式への投資割合は純資産総額の30%以下とします。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (為替ヘッジあり、円ベース)			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	純資産 総額	
	円	騰落率 %	円	騰落率 %	円				騰落率 %
15期(2016年2月1日)	27,101	△ 1.4	24,091	△ 4.0	18,510	△ 5.0	91.9	3.1	20,716
16期(2017年1月30日)	27,651	2.0	25,434	5.6	20,581	11.2	97.0	1.6	20,318
17期(2018年1月30日)	30,587	10.6	27,853	9.5	22,628	9.9	91.9	1.3	19,016
18期(2019年1月30日)	28,553	△ 6.6	26,653	△ 4.3	21,735	△ 3.9	93.1	3.1	15,523
19期(2020年1月30日)	31,692	11.0	30,554	14.6	24,739	13.8	93.6	2.2	14,299

(注) トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

(注) トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注) トムソン・ロイター・グローバルCBインデックスは、Reuters Limited(「トムソン・ロイター」)が発表しており、著作権はトムソン・ロイターに帰属しております。トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したトムソン・ロイター・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (為替ヘッジあり、円ベース)			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	
	円	騰落率 %	円	騰落率 %	円			騰落率 %
(期首) 2019年1月30日	28,553	—	26,653	—	21,735	—	93.1	3.1
1月末	28,551	△ 0.0	26,912	1.0	21,899	0.8	94.4	3.2
2月末	29,659	3.9	28,169	5.7	22,642	4.2	93.3	3.4
3月末	29,488	3.3	27,885	4.6	22,519	3.6	92.8	3.1
4月末	30,535	6.9	28,623	7.4	22,970	5.7	93.7	3.0
5月末	28,985	1.5	27,528	3.3	22,392	3.0	95.4	2.0
6月末	29,581	3.6	27,967	4.9	23,003	5.8	95.5	1.6
7月末	30,142	5.6	28,484	6.9	23,355	7.5	95.8	1.7
8月末	28,833	1.0	27,599	3.6	23,067	6.1	93.1	1.7
9月末	28,968	1.5	27,841	4.5	22,931	5.5	95.6	1.8
10月末	29,895	4.7	28,577	7.2	23,254	7.0	94.0	1.8
11月末	30,742	7.7	29,277	9.8	23,709	9.1	94.0	2.7
12月末	31,436	10.1	29,949	12.4	24,129	11.0	94.7	2.8
(期末) 2020年1月30日	31,692	11.0	30,554	14.6	24,739	13.8	93.6	2.2

(注) 騰落率は期首比です。

(注) トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

投資環境

◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすトムソン・ロイター・グローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、米国(米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、日本(円ベース)、アジア(除く日本、米ドルベース)のすべてで上昇となりました。

- ◆期首から2019年4月にかけては、米中間の貿易協議の進展に対する期待が高まったことやFRB(米連邦準備制度理事会)がハト派的な(金融緩和に前向きな)姿勢を示したことに加え、企業の決算発表が予想対比で概ね良好な結果になったことなども支援材料となり、上昇する展開となりました。
- ◆5月に入ると、米国が中国に対する関税の引き上げを行ったことをきっかけに貿易摩擦問題が再燃したことなどを背景に、世界的にCB市場は下落基調となりました。また、米国によるメキシコに対する追加関税を巡る報道なども市場の重石となりました。
- ◆6月以降は、FRBによる政策金利の引き下げ観測を背景に市場で楽観的な見方が広がったことなどから、7月にかけて堅調に推移しました。
- ◆8月に入ると、貿易摩擦が深刻化したことや英国のEU(欧州連合)離脱を巡る不透明感が高まったことなどを背景に下落する場面もあったものの、主要中央銀行による金融緩和政策の実施などが市場の下支え要因となり、その後は底堅く推移しました。
- ◆11月以降は、経済指標の悪化傾向に歯止めがかかったことや、米中間の通商交渉に進展が見られたことなどを背景にグローバル景気の減速懸念が後退したことなどから、期末にかけて概ね堅調に推移しました。

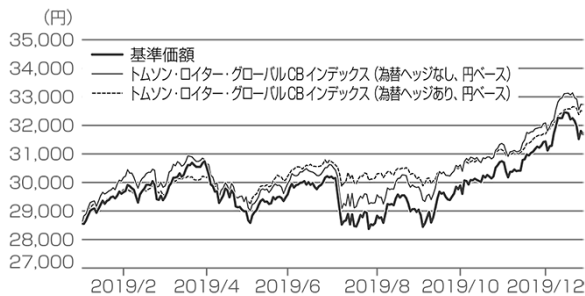
◎為替市況

為替市場では、米ドルは米中貿易摩擦を巡る動きなどが変動要因となった中、通期では対円でほぼ横ばいとなりました。ユーロについては、ユーロ圏の冴えない経済指標の発表などを受けて、対円で下落する展開となりました。

運用経過の説明

◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+11.0%となりました。



(注)トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の変動要因

保有証券の価格が上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

セクター別では、テクノロジーや資本財セクターなどがパフォーマンスにプラスに寄与しました。各国・地域別では、北米や欧州などを中心に堅調なパフォーマンスとなりました。株価連動性については、前期末の水準から上昇しました。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

◆経済指標の減速傾向に歯止めがかかっていると見られることや、主要中央銀行が金融緩和政策を実施していることなどを背景に、市場環境は改善してきていると見ています。グローバル景気が回復する過程で、今後、在庫の積み増しや製造業の回復が見込まれるほか、経済指標に底打ちの兆しが見られることなどにより、市場が更に上昇する可能性もあると考えます。しかし、2020年の金融緩和の規模は2019年より縮小されると予想しており、米国が中国をはじめとする国々との間で抱える貿易摩擦などには、引き続き留意が必要と考えます。

◆グローバル景気が小康状態となる、もしくは更に減速するのにかについては静観しているものの、CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、CBは株式市場の下落局面では、債券の特性により下落率が抑制され、株式市場の上昇局面においては、株式の特性により株価上昇の恩恵の享受が見込まれるという特徴を持ち合わせています。第二に、CBは、景気サイクルの成熟期など市場の変動性が高まる局面において、組み入れられたオプション(株式に転換しうる権利)価格が押し上げられ、株式を上回るパフォーマンスとなる傾向があることが挙げられます。第三に、CBは株式や債券とは異なった値動きとなることから、投資家のポートフォリオに対して分散効果があると考えられます。

◎今後の運用方針

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2019年1月31日～2020年1月30日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (新 株 予 約 権 証 券) (優 先 証 券)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	14 (13) (1)	0.046 (0.043) (0.003)
合 計	14	0.046
期中の平均基準価額は、29,734円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2019年1月31日～2020年1月30日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	イギリス	百株 -	千英ポンド -	百株 3,299	千英ポンド 244

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。

(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

(注) 下段に()がある場合は株式分割、権利行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	ユーロ	証券	千ユーロ	証券	千ユーロ
	ドイツ	-	-	18	171
	イギリス	-	千英ポンド	47,079	15

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。

(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

(注) 下段に()がある場合は権利行使、権利行使期間満了等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権付社債(転換社債)

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円 173,000	千円 204,107	千円 2,000,000	千円 2,018,617
外 国	アメリカ	千米ドル 51,800 (2,377)	千米ドル 58,154 (2,618)	千米ドル 53,433 (4,337)	千米ドル 55,666 (4,578)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	3,000	4,049	7,900	8,547
	フランス	4,769	5,230	296	340
	その他	3,112	3,761	9,300	10,256
	イギリス	千英ポンド 1,200	千英ポンド 1,228	千英ポンド 1,200	千英ポンド 1,464
	スイス	千スイスフラン 400	千スイスフラン 465	千スイスフラン 600	千スイスフラン 808
香港	千香港ドル 19,000	千香港ドル 19,643	千香港ドル 2,000 (12,000)	千香港ドル 1,997 (12,000)	

(注) 金額は受渡し代金です。(経過利子分は含まれておりません。)なお、単位未満は切捨てです。

(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

(注) 下段に()がある場合は権利行使、予約権行使、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

優先証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	アメリカ	百証券 237	千米ドル 1,296	百証券 446 (-)	千米ドル 3,542 (14)

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。
 (注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。
 (注) 下段に()がある場合は分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年1月31日～2020年1月30日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	35,404千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	35,159千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.00

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月31日～2020年1月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年1月31日～2020年1月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年1月30日現在)

下記は、ワールド・CB・オープン・マザーファンド全体(4,511,891千口)の内容です。

外国株式

当期末現在における組入れはありません。

銘 柄		期首(前期末)	
		株 数	百株
(イギリス)			
PREMIER OIL PLC			3,299
小 計	株 数	3,299	
	銘 柄	1	
合 計	株 数	3,299	
	銘 柄	1	

(注) 株数の単位未満は切捨てです。
 (注) 株数に一印がある場合は組入れなしを表します。
 (注) ()内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

外国新株予約権証券

当期末現在における組入れはありません。

銘柄	期首(前期末)	
	証券数	
(ユーロ…ドイツ) SIEMENS AG-CW19 15 WRT		証券 18
ユ	証	券
ー	銘	柄
ロ	数	数
計		18
(イギリス) PREMIER OIL PLC-CW22 WRT		47,079
小	証	券
計	銘	柄
	数	数
		47,079
合	証	券
計	銘	柄
	数	数
		47,097
		2

(注) 証券数の単位未満は切捨てです。

(注) 証券数に一印がある場合は組入れなしを表します。

(注) ()内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。

国内新株予約権付社債(転換社債)

銘柄	当 期 末	
	額 面 金 額	評 価 額
ソニー130%コールオプション条項付第6回無担保転換社債	千円 226,000	千円 343,520
東レ 0% AUG21 CB	70,000	74,825
SBIホールディングス 0% SEP22 CB	30,000	44,480
SBIホールディングス 0% SEP23 CB	100,000	104,512
合 計	額 面 金 額 426,000	567,337
	銘 柄 数 < 比 率 >	4 < 4.0% >

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

外国新株予約権付社債(転換社債)

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
	千米ドル	千米ドル	千円
(アメリカ)			
PRICELINE 0.35% CB	870	1,249	136,259
CHINA RAILWAY 0% CB	1,250	1,277	139,207
LVMH MOET 0% MCFP CB	1,254	2,440	266,079
ILLUMINA 0.5% CB	272	356	38,884
SHANGHAI PORT 0% 21 EB	1,329	1,350	147,208
BOOKING HLDGS 0.9% CB	1,333	1,482	161,558
GOLAR LNG 2.75% CB	923	804	87,684
SILICON LABO 1.375% CB	1,206	1,480	161,423
STMICRO 0% A CB	2,800	4,082	445,019
IAC FIN 0.875% CB	733	1,266	138,096
WORKDAY 0.25% CB	1,415	1,928	210,250
HUAZHU GRP 0.375% CB	1,383	1,457	158,898
TOTAL 0.5% FP CB	1,600	1,644	179,315
LIBERTY MEDIA 1% CB	679	914	99,676
LIVE NATION 2.5% CB	1,991	2,413	263,122
RINGCENTRAL 0% CB	649	1,621	176,780
DEUTSCHE BK LDN 1% EB	1,703	1,800	196,259
FIVE9 0.125% CB	849	1,545	168,440
CHEGG 0.25% CB	720	1,165	127,019
SQUARE 0.5% CB	2,121	2,594	282,793
TWLO 0.25% CB	765	1,396	152,240
ENVESTNET 1.75% CB	1,412	1,744	190,167
PALO ALTO 0.75% CB	2,677	2,988	325,746
ILLUMINA 0% CB	1,188	1,285	140,097
SPLUNK 0.5% CB	1,810	2,206	240,581
DOCUSIGN 0.5% CB	830	1,053	114,837
XERO 2.375% CB	1,404	1,974	215,203
ON SEMICON 1.625% CB	2,826	3,837	418,293
DEXCOM 0.75% CB	1,178	1,855	202,265
TAIWAN CEMENT 0% CB	1,300	1,681	183,334
BAOZUN 1.625% 144A CB	1,148	1,066	116,224
ZYNGA 0.25% CB	1,177	1,206	131,561
REPLIGEN 0.375% CB	666	743	81,082
BIOMARIN PHARM 0.599% CB	793	850	92,683
PROOFPOINT 0.25% CB	1,000	1,080	117,810
ZILLOW GRP 0.75% CB	1,017	1,278	139,353

銘柄	当 期 末			
	額面金額	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
	千米ドル	千米ドル	千円	
WUXI APTEC 0% CB	700	833	90,866	
QIAGEN 1% CB	2,000	2,068	225,471	
CYBERARK 0% CB	1,225	1,374	149,871	
BARCLAYS BK 0% EB	1,498	1,557	169,828	
CHEGG 0.125% CB	350	375	40,946	
AKAMAI TECH 0.125% CB	910	1,059	115,460	
COUPA SOFTWARE 0.125% CB	1,890	2,404	262,077	
OKTA 0.125% CB	1,420	1,444	157,428	
SPLUNK 1.125% CB	425	534	58,304	
MONGODB 0.25% CB	640	680	74,151	
SNAP 0.75% CB	1,673	1,899	207,114	
INSULET 0.375% CB	1,282	1,440	157,051	
MICROCHIP 1.625% CB	2,557	3,554	387,454	
EXACT SCIENCES 0.375% CB	2,142	2,372	258,616	
IAC FIN 2% CB	1,000	1,172	127,795	
LIB MED IT 1.75% 144A EB	1,400	2,075	226,270	
EURONET WORLDWIDE 0.75% CB	878	1,063	115,948	
小 計	額面・金額	68,261	85,039	9,270,122
	銘柄数<比率>	53	—	<64.8%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円	
MTU AERO 0.125% MTX CB	600	1,364	163,759	
ADIDAS AG 0.05% ADS CB	2,000	2,464	295,870	
SYMRISE 0.2375% CB	1,900	2,298	275,944	
LEG IMMO 0.875% LEG CB	800	947	113,739	
小 計	額面・金額	5,300	7,074	849,313
	銘柄数<比率>	4	—	<5.9%>
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円	
KERING 0% PUM EB	800	879	105,629	
ARCHER 0% KER EB	1,600	2,315	277,939	
SAFRAN 0% SAF 23 CB	2,425	2,920	350,553	
EDENRED 0% EDEN CB	568	637	76,568	
ATOS 0% EB	600	721	86,673	
ORPEA 0.375% CB	1,620	1,818	218,364	
小 計	額面・金額	7,614	9,293	1,115,729
	銘柄数<比率>	6	—	<7.8%>

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・その他)	千ユーロ	千ユーロ	千円
STRATEGIC INTL 0% EB	912	1,042	125,168
CELLNEX 1.5% CLNX CB	1,600	2,337	280,582
小 計	額面・金額	2,512	3,379
	銘柄数<比率>	2	—
			<2.8%>
ユーロ計	額面・金額	15,426	19,748
	銘柄数<比率>	12	—
			<16.6%>
(イギリス)	千英ポンド	千英ポンド	千円
OCADO GRP 0.875% CB	1,100	1,138	161,576
小 計	額面・金額	1,100	1,138
	銘柄数<比率>	1	—
			<1.1%>
(スイス)	千スイスフラン	千スイスフラン	千円
SIKA 3.75% CB	800	1,074	120,374
SIKA 0.15% CB	1,460	1,680	188,229
小 計	額面・金額	2,260	2,755
	銘柄数<比率>	2	—
			<2.2%>

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(香港)	千香港ドル	千香港ドル	千円
HARVEST INTL 0% EB	16,000	16,613	233,082
ZHONGSHENG GRP 0% CB	10,000	11,629	163,166
CHINA CONCH 0% CB	10,000	11,200	157,145
CHINA EDUCATION 2% CB	11,000	11,247	157,796
小 計	額面・金額	47,000	50,690
	銘柄数<比率>	4	—
			<5.0%>
合 計	額面・金額	—	—
	銘柄数<比率>	72	—
			<89.7%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。
(注) (<>)内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。うち、ユーロ圏以外の発行地または取引市場の国または地域名については、「ユーロ・・・その他」の欄に記載しております。

優先証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
		証券数	評 価 額	
		証券数	外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	百証券	百証券	千米ドル	千円
BECTON DICKINSON AND CO 6.125% A PFD	115	167	1,125	122,727
INTL FLAVORS & FRAGRANCES 6% PFD	—	134	667	72,806
MANDATORY EXCH TRUST 5.75% 144A PFD	51	—	—	—
NABORS INDUSTRIES LTD 6% PFD	179	—	—	—
COLFAX 5.75% PFD	106	65	1,044	113,849
STANLEY BLACK & DECKER INC 5.375% PFD	123	—	—	—
合 計	証券数・金額	576	2,838	309,383
	銘柄数<比率>	5	3	—
				<2.2%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 証券数・評価額の単位未満は切捨てです。
(注) 証券数に一印がある場合は組入れなしを表します。
(注) (<>)内には、各証券の発行通貨の国または地域名を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2020年1月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 13,389,624	% 91.7
優先証券	309,383	2.1
コール・ローン等、その他	900,538	6.2
投資信託財産総額	14,599,545	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(13,756,443千円)の投資信託財産総額(14,599,545千円)に対する比率は94.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.01円、1ユーロ=120.05円、1英ポンド=141.97円、1スイスフラン=112.01円、1スウェーデンクローネ=11.33円、1ノルウェークローネ=11.90円、1オーストラリアドル=73.49円、1香港ドル=14.03円、1シンガポールドル=79.97円、1新台幣ドル=3.62円、1南アフリカランド=7.46円です。

○特定資産の価格等の調査

調査を行った者の氏名又は名称
PwCあらた有限責任監査法人

調査の結果及び方法の概要

調査依頼を行った取引は2019年1月31日～2020年1月30日までの間で新株予約権証券取引1件でした。これらの新株予約権証券取引について、「投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)」第11条第2項に基づいて比較可能な価格のほか、取引価格、取引の相手方の名称、銘柄、取引数量、その他の当該新株予約権証券取引の内容に関して、PwCあらた有限責任監査法人に調査を委託し、日本公認会計士協会が公表した専門業務実務指針4460「投資信託及び投資法人における特定資産の価格等の調査に係る合意された手続業務に関する実務指針」に基づく調査結果として合意された手続実施結果報告書を入手しています。

なお、本調査は財務諸表監査の一部ではなく、また価格の妥当性や内部管理体制について保証を提供するものではありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年1月30日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	15,002,845,447
コール・ローン等	639,172,978
公社債(評価額)	13,389,624,088
優先証券(評価額)	309,383,609
未収入金	641,925,299
未収配当金	1,632,563
未収利息	19,796,670
前払費用	1,310,240
(B) 負債	703,772,219
未払金	573,128,859
未払解約金	130,643,048
未払利息	312
(C) 純資産総額(A-B)	14,299,073,228
元本	4,511,891,855
次期繰越損益金	9,787,181,373
(D) 受益権総口数	4,511,891,855口
1万口当たり基準価額(C/D)	31,692円

<注記事項>

期首元本額	5,436,586,151円
期中追加設定元本額	490,472,604円
期中一部解約元本額	1,415,166,900円

元本の内訳

JPMワールド・CB・オープン	4,500,195,964円
GIMワールド・CB・オープンVA(適格機関投資家専用)	11,695,891円

○損益の状況 (2019年1月31日～2020年1月30日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	107,452,731
受取配当金	16,349,139
受取利息	90,992,372
その他収益金	296,624
支払利息	△ 185,404
(B) 有価証券売買損益	1,483,481,024
売買益	1,939,150,033
売買損	△ 455,669,009
(C) その他費用等	△ 7,020,342
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,583,913,413
(E) 前期繰越損益金	10,086,419,934
(F) 追加信託差損益金	971,045,384
(G) 解約差損益金	△ 2,854,197,358
(H) 計(D+E+F+G)	9,787,181,373
次期繰越損益金(H)	9,787,181,373

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。